

2015年度  
ちくりん舎の活動状況

2016.5.22

NPO法人市民放射能監視センター(ちくりん舎)理事  
青木一政

# ゲルマ2台体制の立ち上げと安定運用

- 2015年5月 設置工事開始
- 6月 調整開始
- 7月 2台目稼働開始
- 10月 長時間測定料金改定（値下げ）



ゲルマ測定器愛称  
1台目：ミレーン1  
2台目：ミレーン2

シンチレータ測定器愛称  
オーレリー

# ゲルマ2台目設置工事の様子



# 特別寄付により2台化を達成

- 特別寄付のご協力ありがとうございました。  
108万円(団体37万円、個人71万円)で目標額を突破。
- ゲルマ2台化金額の内訳(概要)

収支	内訳		備考
支出	ゲルマ半導体測定器	1,620,140	
	検出部本体	0	ゲルマ中古品をACROより無償提供
	マルチチャンネルアナライザ	(1,129,590)	2013年度に事業収益より予備品として購入済み
	鉛遮蔽体製作・設置	1,620,140	
	建物増設工事	810,000	
	立上げ調整・校正	0	ちくりん舎スタッフにより実施
	総額	<b>2,430,140</b>	
収入	特別寄付	1,080,000	
	特別借入	900,000	今後事業収益より返済
	事業収益からの補てん	450,140	
	総額	<b>2,430,140</b>	

# ミレーン1とミレーン2の比較

	ミレーン1	ミレーン2
検出部	BSI*社製プレーナー型 (新品) *Baltic Scientific Instruments(ラトビア)	BSI社製同軸型 (中古品) *Baltic Scientific Instruments(ラトビア)
マルチチャンネルアナライザー	Itech社製(仏) ORION	Itech社製(仏) ORION
解析ソフト	Itech社製(仏) InterWinner7.0	Itech社製(仏) InterWinner7.0
スペクトル分解能	4000ch/30-1980kev	8000ch/30-1980kev
特性	低エネルギー領域での特性に優れる	中～高エネルギー領域で高性能



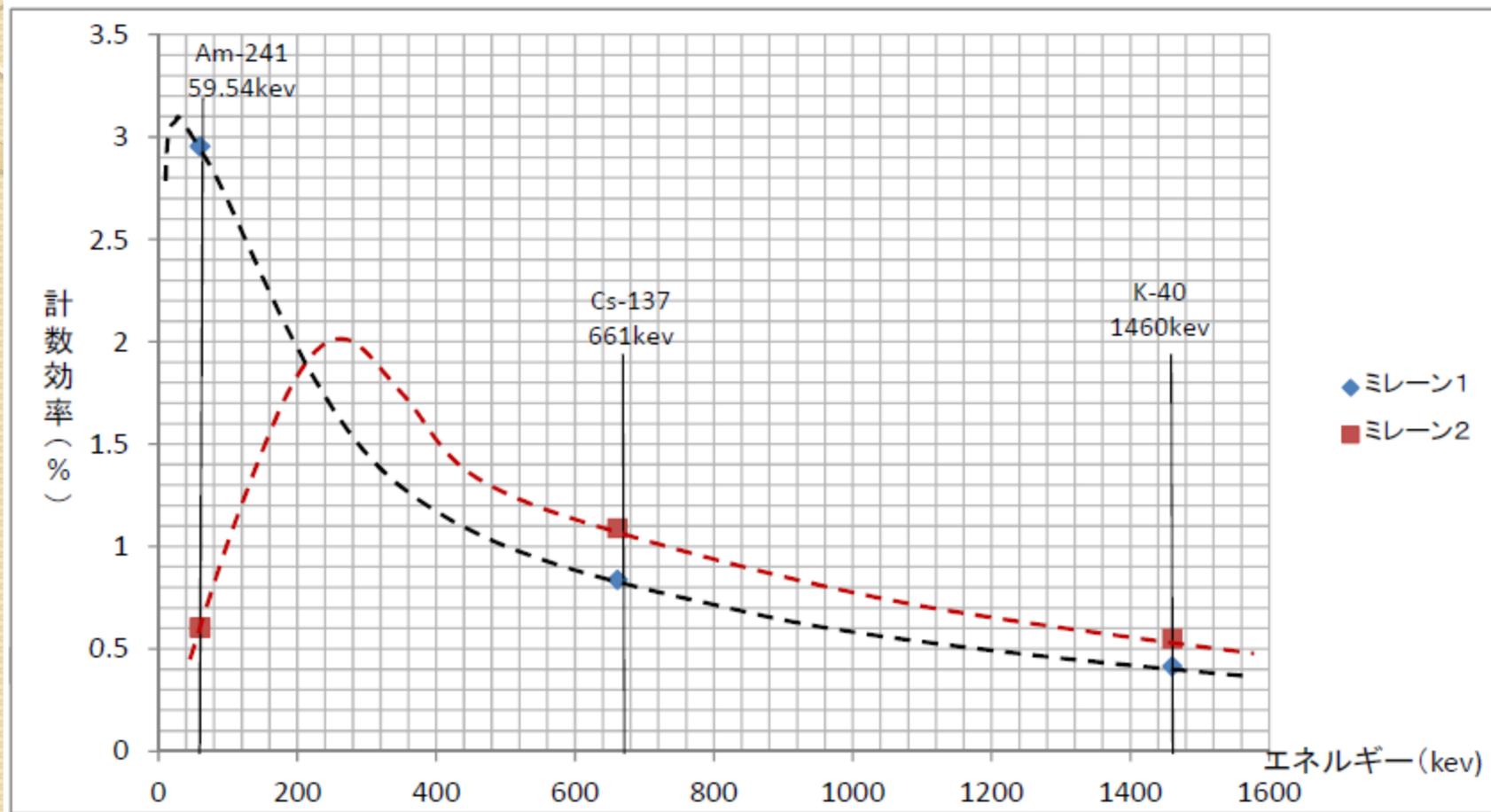
ミレーン1 (プレーナー型) の検出部



ミレーン2 (同軸型) の検出部

# ミレーン1とミレーン2の比較

ミレーン1 とミレーン2 の効率特性（模式図）



ミレーン2(プレーナー型) は低エネルギー領域での計数効率が高い

# 長時間測定の新料金表

**新料金表** (2015年10月1日より)

NPO法人 ちくりん舎

●一般の検体

円/時間	0.5	1	2	4	8	18	24	48
会員	2,500	3,000	5,000	6,500 (8,500)	10,000 (12,000)	13,000 (16,500)	15,000 (18,000)	18,000
非会員	3,000	4,000	6,500	8,000 (11,000)	12,500 (15,500)	17,000 (21,500)	18,500 (23,000)	21,500

\*括弧内は旧料金です。12時間の料金設定は無くなりました。

\*測定時間を長くすることで検出限界は下がります(精度があがる)。詳しくはお問い合わせください。

●尿検査(18~24時間測定)検出限界0.1Bq/Kg程度

1検体	10,000円/1検体
3検体以上	9,000円/1検体
5検体以上	8,000円/1検体

\*お申込みの際に検体数をお知らせください。

●リネン吸着プロジェクト(18~24時間測定、リネン布代含む)

12,000円/1検体
-------------

約100名の皆様の参加をいただきました。

NPO 法人ちくりん舎 (市民放射能監視センター)  
第3回シンポジウム

## 原発事故被害者の今を知る ～避難先から・被災地から～

放射能安全神話の下に  
被ばくを強いられ、  
「風評被害」に分断される  
原発事故被災地

「復興」の名の下に  
帰還を強要され、  
「避難の権利」を奪われる  
原発事故被害者たち

福島原発事故から5年、  
想像し得なかった新たな開いが  
始まっています

2016年 **3月20日 (日)**  
13:30 ~ 16:30 (開場 13:15)

武蔵野公会堂 (吉祥寺駅徒歩2分)・参加費500円

お話 **イアン・トーマス・アッシュさん**  
映画「A2-B-C」監督

(当事者からの報告)

- 避難先から 星ひかりさん (郡山市から東京都へ) 長谷川克己さん (郡山市から静岡県へ)
- 被災地から 小澤洋一さん (南相馬市) 菅野美成子さん (伊達市)

主催: NPO 法人ちくりん舎 後援: 認定 NPO 法人高木仁三郎市民科学基金



○避難した方もしていない方も子供たちを守らなければという思い。この思いが強く突き刺さり私自身失いかけていた大切なことを少しでも取り戻すことができたように思います。大切な話を聴ける機会を頂き有難うございました。（男性・40代）

○この活動を出来る限り続けてください。（男性・60代）

○真実を知ってびっくり。メディアはもっと勇気ある報道を。皆さん、子供の将来を考えておられ共感します。本企画、有難うございます。（男性・50代）

○ときどきチラシ等で（ちくりん舎が）活動している様子を見ています。地道な活動ですが大事な中味ですね。今後に期待しております。今日は有難うございました。（女性・70代）

○今日は具体的な内容をいろいろ聞くことができとてもよかったです。ちくりん舎の活動がよくわかりました。地道なご努力に頭がさがります。イアンさん、映画を撮ってくれて有難う。菅野さん、疲れ過ぎないように。（女性・60代）





# 尿検査結果 — 地域による違い(調査期間2013/4~2016/1)

